

# 広島市植物公園が保有する サクラソウ園芸品種の 開花時期について

井上尚子・荒木大蔵・豊永哲夫

広島市植物公園では、日本の伝統園芸植物であるサクラソウを約280品種保有し（2012年現在）、毎年「サクラソウ展」を開催している。展示開催時期については、ここ数年は4月中旬から4月下旬で定着しているが、開花期が合わない年もあったため、サクラソウの適当な展示時期を考えるための基礎資料として、当園が保有するサクラソウ園芸品種の2002年から2010年までの開花記録をまとめた。

## 【栽培概要と記録方法】

サクラソウの芽分け作業は、1月下旬から2月に実施し、5号鉢に同じ品種を4芽ずつ植え付けた。植え付け後は、日当たり良い棚上に置き、開花まで土を乾燥させないように灌水した。

記録は、鉢の中で1輪以上花が咲いた日を「開花始め日」とし、ほぼ全ての花が散った日を「開花終わり日」とした。

記録したのは、2002～2010年の順に176、181、208、223、226、231、240、261、280品種（表）であった。「開花始め日」については毎年記録し、「開花終わり日」については2002年のみ記録した。また開花始め日から何日目が開花見頃になるかを観察した。

## 【結果】

2002年の開花期間は平均15.7日で見頃は開花5日から12日目の約1週間であった。

2002～2010年にわたり、サクラソウ園芸品種の開花始め日を記録し、結果を図にまとめた。

開花した品種が半数を超えた日は、2002年は4月上旬（4月4日）であったが、2003年以降2010年までは4月中旬（4月11日～4月19日、平均4月15日）であった。

## 【考察】

広島市植物公園のサクラソウ園芸品種の開花記録を見ると、2002年は2003～2010年と比べて1週間以上開花が早かったことが分かった。山陽地方の平均気温の平年差を見ると（気象庁ホー

ムページwww.data.jma.go.jp/gmd/cpd/cgi-bin/view/index.php)、2002年は前年12月から2月中旬までは平年より寒い日が多かったのに対し、2月下旬以降4月上旬までは平年より1.2～3.4℃高く、サクラソウが正常な開花を準備するために必要な低温が早々に満たされたのち、開花を促す適当な温度が提供されたために、このように開花が早まったと推測される。この年は東京でも桜が彼岸前に開花したことが話題になっており、全国的な現象だったと思われる。

サクラソウの開花期間は平均16日間で、見頃は開花5日から12日目の約1週間であった。2002年のように特別開花が早かった年を除けば、開花始め日の平均は4月15日であったので、4月20日～4月27日が見頃であり、展示開催の適期と言えた。

2011年と2012年は春先が例年と比べて寒かったため、開花期を展示期間に合わせるため、3月末～4月始めに鉢の大部分を温室（最低温度8℃設定）、あるいは無加温のフレーム内に取り入れて栽培した。そうして咲かせたサクラソウは自然に咲かせたものと比べて徒長気味で、光、空中湿度、気温の日変化等、他の要素にも配慮しなければいけないと思われた。

今後は、これらの結果を踏まえ、サクラソウの展示開催時期を決定し、開花時期に大幅な変動が予想される年は、早めの対処方法を考えることとしたい。

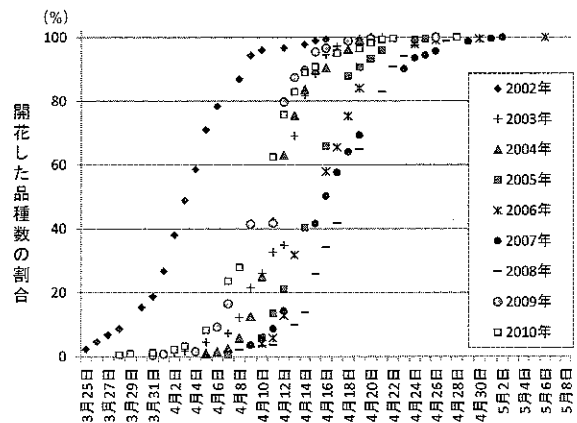


図. サクラソウ園芸品種の開花始め日



